

CONTENTS

2,3... **特集** 骨髄または末梢血幹細胞を提供する前に、大切な面談があります

4... ご存知ですか? 骨髄バンク推進全国大会

5... 「命の感謝状」ありがとう! ドナーさん・患者さん!!

6... 日本骨髄バンクの現状/トピックス

7,8... 登録内容変更の手続きをお願い
 バンクニュース発行のメールによるお知らせ
 募金のお願い/プレゼント

■日本骨髄バンクの現状 ※2015年10月末現在



INTERVIEW



骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉』主催:滋慶学園.COMグループ

「私たちにできることはないだろうか…」
 骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉』は、骨髄バンクの窮状を知った滋慶学園グループの学生たちの思いから始まりました。出演者も制作スタッフも全てを学生が作り上げたオリジナルミュージカルで、大きな反響を呼び、その後東京・福岡・名古屋でも公演が行われました。今年で22年目になり、累計来場者数は16万人を超えました。

生きているからこそ手を差し伸べることができる。愛とは与えるもの。

——『明日への扉』より

十咲 舞子さん (33歳)

プロフィール

アイデアクラスモデルマネジメント所属 兵庫県在住
 大阪スクールオブミュージック高等専修学校卒業
 2006年/ドナー登録 2008年/骨髄提供

「明日への扉」にゴスペルのコーラス隊として参加するまで、白血病のことも骨髄バンクの存在も知りませんでした。公演に携わる学生は、練習が始まる前の出陣式で、骨髄バンク設立の経緯や骨髄移植を受けた患者さんの実情を知ることから始まります。
 在学中からこのミュージカルに対する思いは真剣で、代々受け継いでいかなければいけないものだという使命感がありました。公演を終えるころには、ドナー登録をしようと思った。

学校を卒業してすぐ、「重要なお知らせ」と書かれた適合のお知らせが届きました。登録しているもので、いつ来てもおかしくないと思っていたので「ついに来た!」と。当時、バーテンダーとして働いていたので、詳しい検査をするため病院へ行くのも徹夜明けで、体力的に大変だったのを覚えています。

幸い検査結果も問題なく、ドナーとして選ばれました。正直、不安や恐怖はありましたが、患者さんにとって骨髄移植は命をかけた挑戦であると知っていたので、提供する意思に揺らぎはありませんでした。両親も在学中に『明日への扉』の公演を観ていたので「あかんで言われへんな」と言っただけであつても受け入れようと同意書にサインしてくれました。

入院は3日間と聞いていましたが、退院してすぐ働くのも不安だったので、職場の理解もあり5日間休みを取りました。自分が半日くらい全身麻酔で意識がないこと、人生の中で少し仕事を休むこと、そんなこと大したことない。全身麻酔から覚めた後は、一人でトイレに行くときに、採取した辺りに重い感覚があり、歩くのも大変でしたが、翌日にはほとんど痛みもなく、退院するときには、普通に歩けるくらいに回復していました。

提供したことは自慢することでもないのですが、きっかけがあると話すこともあります。「すごいことしたね」と言われるんですが、自分にとって自然な流れだったんです。患者さんは、病気で苦しんでいて、恋人や家族がいて心配しているかもしれない。私にできることであれば、協力しよう。また適当して依頼があれば、迷わず提供したいと思います。

特集

骨髄または末梢血幹細胞を

提供する前に、大切な面談があります

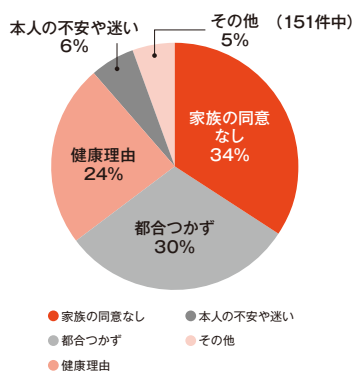
最終同意面談には、とても大事な意味があります。患者さんと適合して詳しい検査を行い、ドナーとして選ばれた後に、ドナー本人の最終的な意思とご家族の同意を確認することです。
最終同意後に、提供意思を撤回すると患者さんの命に関わるため、ご家族とよく話し合ってください。この特集をご家族の方と一緒に読んでいただき、提供のご理解を深めてください。

最終同意とは

患者さんと適合して病院で詳しい検査を受けた後、患者さんの主治医は、最も移植に適したドナーを選びます。ドナーに選ばれると最終同意面談の日時と場所を調整します。第三者の立会人の同席のもと、コーディネーター・医師が説明をします。ドナーとご家族が十分ご理解いただけたら同意書に署名・捺印します。これが、最終的な提供意思の確認です。提供はあくまでドナーの自由意思によるものです。最終同意書に署名・捺印する前であれば提供を辞退することができますが、それ以降は同意を撤回することができません。
最終同意が確認されると、患者さんは「間違いなく移植が受けられる」という前提で移植に向けた

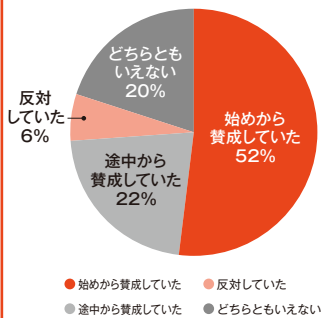


コーディネート終了理由
(最終同意面談前 ドナー理由)2014年度実績



骨髄提供について、
家族は賛成していましたか？

(採取後3カ月アンケート回答数11,423)



最終面談前 CHECK LIST

- 自分の提供意思に迷いが無い
- 健康である(健康診断などで指摘を受けていない等)
- 家族に提供することを説明し、理解してもらえた
- 仕事等のスケジュールを調整できる

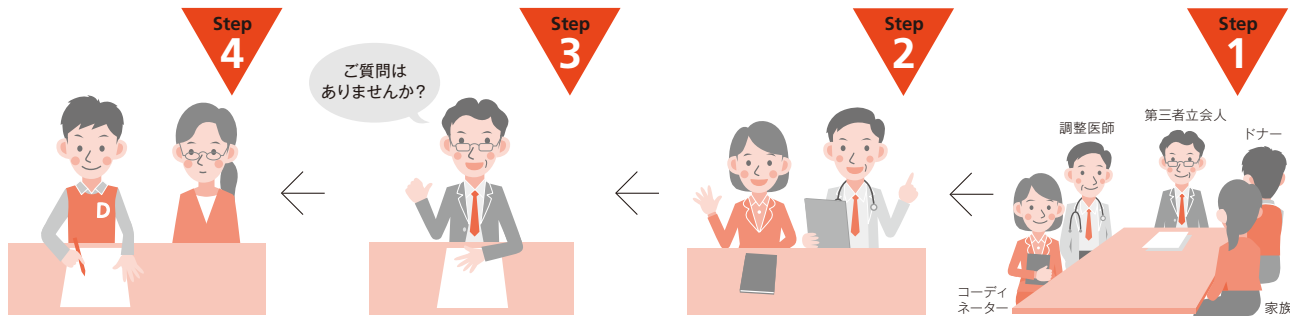
チェックできなかった項目があると提供できない可能性があります。問題がある場合は、コーディネーターに申告してください。

準備をし、抗がん剤の投与や放射線の照射を受け、命がけの治療に臨みます。

ご家族にはドナー本人から説明してください。

適合後、ドナーには担当のコーディネーターが付きませんが、ご家族に説明するのはドナー本人です。提供には数日間(骨髄提供3泊4日・末梢血幹細胞提供6泊程度)入院をします。退院後の社会復帰に向けて、ご家族の協力やサポートが必要となります。ご家族の方にもご理解いただくよう、最終同意面談前によく話し合ってください。

最終同意面談の流れ



ドナーとご家族は、説明を十分に理解し、提供意思があれば「最終同意書」へ署名・捺印をします。

立会人は、ドナーとご家族が十分に理解しているか、提供が自由意思によるものかを確認します。

コーディネーターは、ドナーとご家族に提供についての最終的な説明を行い、医師は医学的な説明をしたり質問にこたえます。

ドナー、ご家族、第三者の立会人、コーディネーターと調整医師で面談します。



最終同意面談直後にお話を伺いました

登録のきっかけ



おのづかしゅう
小野塚 柁さん (23歳)
埼玉県在住の会社員

コーディネーター

富澤 真麻

最終同意面談は、コーディネーターの中で一番緊張します。ドナーはもちろんですが、まず家族に知っていただくことが一番大事です。事前にドナーがご家族にきちんと話していただいていることがベストですが、あまり説明を受けずに面談に来られるご家族もいます。その場合は、特に気をつけて説明し、始めから説明し気持ちをしっかりと確認します。同意、不同意に関わらず、何でも遠慮なく質問していただきたいです。患者さんや採取する施設のことなど、すでに決まっているかのように出る場合もありますが、いったんゼロにしてこの提供に向けての不安や心配など率直なお気持ちを聞きたいです。

埼玉県は全市町村の提供ドナーに、助成金が支給されます。提供されたドナーが対象になるため、ドナーには最終同意面談で初めて説明します。驚かれる方もいますが、助成金の存在がドナーさんの後押しになっていることは確かです。昨年は一部の自治体だけでしたが、今年から埼玉県全域になりドナーに安心して説明できるようになりました。



※骨髄及び末梢血幹細胞提供を終えたドナーのための助成制度が全国の地方自治体・民間団体で導入されています。助成内容は各自治体・団体によって異なります。詳しくは日本骨髄バンクホームページをご覧ください。

ドナー登録したのは、2年前で大学生の時でした。免許の更新の手続きで、たまたま時間が空いたので献血したところ、会場でドナー登録の呼びかけをしていた骨髄バンクの人に勧められたことがきっかけです。就職し仕事にも慣れてきた2年目に適合通知が届きました。正直、「なんで大学生の時来てくれなかったのか」と思いました。ちょうどその時、1週間後に都内か関西に異動になると言われていて…。異動後の職場でも、提供するには休まなければいけないことなど話し、「登録してたんだ。すごいね」と好意的に受け止めてもらえました。

最終同意面談が終わって、人のために役に立っていると実感してきました。面談では、入院する病院について、術後の痛みについて質問しました。針を身体に刺すのである程度の痛みはあると思いますが、きちんと説明を受けたので気になりません。

埼玉県内の提供ドナーに助成金が(※)支給さ

れることは、登録したときには知りませんでした。適合した後に骨髄バンクのホームページを見て、この制度があることを知りました。この助成金があるから提供する訳ではありませんが、提供することに背中を押してくれますね。私が住む加須市は事業所にも助成金が出ますが、会社に申告したところいらぬと言われました(笑)。

家族にも自分で説明し、父と兄は淡白な反応でしたが、母は戸惑っていました。でも最終的には同意してくれました。自分に何か起きなければ、提供することは決めていました。

お母様「息子の意思を尊重」

息子がドナー登録していることは送られてくる骨髄バンクニュースで知っていました。適合したと知り、「こんなに早く来るんだ…」と。骨髄移植という名前は知っていましたが、どんなものかよく理解していませんでしたし、臓器移植のように手術すると思っていました。すぐにインターネットで調べ、提供した方の体験談のブログを見たりしました。

息子が骨髄バンクに登録した時点で、適合したら断らないだろうと思っていました。一度決めたら曲げないところがありますから。自分が決めたのであれば、息子の意思を尊重しようと思いました。リスクはゼロではありませんが、最終同意面談で直接説明を受け安心しました。

A

Q

立会人はコーディネーター・調整医師が十分な説明を行い、ドナーとご家族が理解しているか、提供が自発的意思によるものかを確認するために同席します。

立会人はどうして必要なの？

A

Q

3つの場合があります。
①家族がドナーの居住地に来て同席のうえ面談
②ドナーが家族の居住地に行つて面談
③ドナーと家族が別々に面談

家族が遠方に住んでいる場合は？

A

Q

健康維持に留意されることはもちろん、過度の運動は控えていたたり、事故などに遭わぬように注意していただければと思います。

最終同意面談以降の、生活上の留意点は？

A

Q

ドナーにとって最も身近な方(独身の方はご両親、既婚の場合は配偶者)となります。事情によっては、ご兄弟姉妹や後見人などの場合もあります。

同席する家族は？

A

Q

提供直前にご家族の強い反対で、提供ができなくなった場合、患者さんが致命的な状態に陥ってしまいます。ご家族の意見を反映させることで、ドナー候補者の意思決定を慎重にしていたたく意味もあります。また、病院によっては麻酔や手術を行う際、ご家族の署名捺印を必要とする場合があります。

なぜ家族の同意が必要なの？

最終同意面談 FAQ



当法人理事長の挨拶

ご存知
ですか?

骨髄バンク 推進全国大会

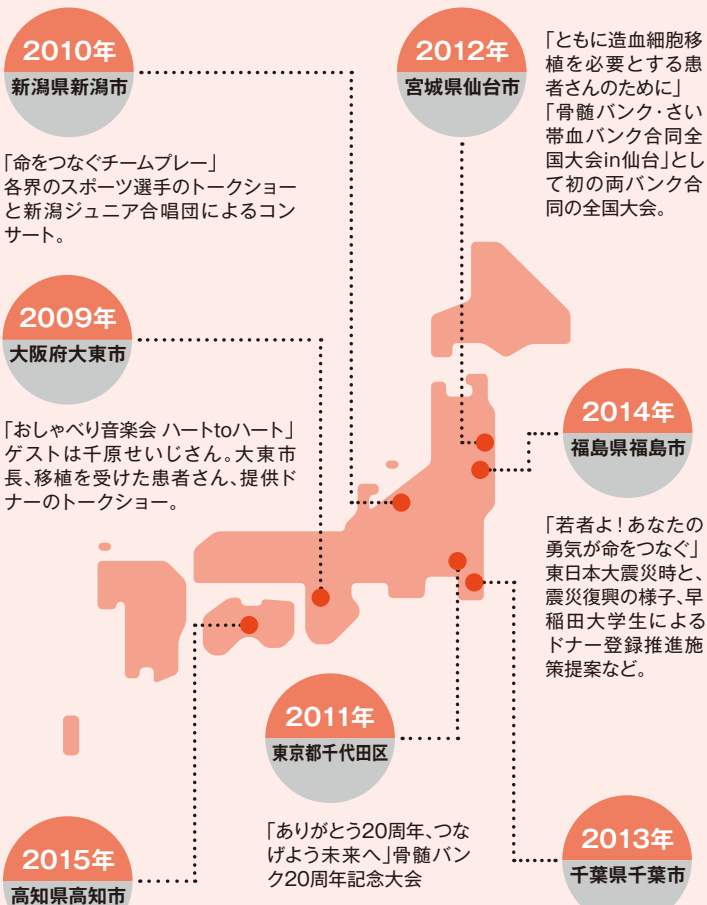


地元高知県出身の藤川球児さん

日本骨髄バンクでは毎年10月の骨髄バンク推進月間に合わせて「骨髄バンク推進全国大会」を開催しています。近年は地方での普及啓発の強化のために日本各地で行っており、各地のボランティアや行政のご協力をいただき開催しています。今回は高知県骨髄バンク推進協議会の多大なご協力のもと「第23回高知県骨髄移植講演会&ドナー登録会」と共催で「骨髄バンク推進全国大会2015 in 高知」のちを救えるのは、あなただけかもしれない」と題して9月12日、高知市で開催しました。高知県出身でドナー登録もしている藤川球児選手も応援に駆けつけ、看護学校生など若い方々を中心に、会場が満席になりました。

日本骨髄バンクは2016年12月に設立25周年を迎えます。来年の全国大会は記念大会として世界骨髄バンクドナーデーの9月17日(土)に開催を予定しています。入場無料でどなたでも参加できます。皆さま、お気軽にご参加ください!

近年の開催地と主な内容



共催：高知県骨髄バンク推進協議会
第23回高知県骨髄移植講演会
&ドナー登録会

■世界骨髄バンクドナーデー

BMDW(世界骨髄バンクドナーHLA集計システム)が公表している世界のドナー登録者数が2,500万人に到達しました。これを記念して、今年から毎年9月の第三土曜日を「世界骨髄バンクドナーデー」(World Marrow Donor Day)として定められ、世界骨髄バンク機構に加盟する52カ国のバンクで様々なイベントが行われました。

次回開催概要

日付：2016年9月17日(土)
場所：藤原洋記念ホール
(慶應義塾大学日吉キャンパス)



高知ではドナー登録会も開催

来年は骨髄バンク設立25周年記念大会を
慶應義塾大学日吉キャンパス(神奈川県)で開催



「命の感謝状」ドナーさん・患者さん!!

骨髄バンクを通じて移植を受けた患者さんとドナーさんの手紙のやりとりは、移植後1年以内に2往復までとされています。その期間、手紙を書けなかった方や、もう一度感謝の気持ちを伝えたいと思っている方もいます。患者さんとドナーさんは、お互い顔も知らず、声を聞くこともありませんが、この骨髄バンクニュースで、その思いをお伝えします。

患者さん



さとみさん (36歳)
2013年/骨髄バンクを介して骨髄移植
職業/看護師

忘れられない誕生日。
そして数え切れない方へ感謝。

2013年の6月、私は白血病と

告知されました。数日咳が止まらずに受診しましたが、そのほかの症状が全くなかったため、私には「まさか」という思いしかありませんでした。しかし、翌日には入院、検査、抗がん剤治療と数週間はあつという間に過ぎて行きました。治療による副作用が辛く、これが現実であることがやつと理解できました。

幸いなことに私の白血病のタイプは抗がん剤治療のみで完治を望めるものですが、忘れもしない私の9月の誕生日に抗がん剤によるショックを起こしてしまいICUへ搬送。翌日には一般病棟へ戻ることができませんでした。以後その薬剤は使用できず、今後の治療として骨髄移植が選択されました。

早速、移植コーディネーターさんが入室してくださり移植の説明をしてくれました。私には兄が一人い

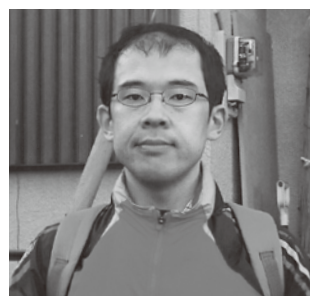
るのですが、HLA型が合わず骨髄バンクのお世話になることに。ドナーさんの数は多くないと認識していたので、私は緊張しながら結果を待っていたような気がします。そして、コーディネーターさんが結果を持ってきてくれた時、私は大きな幸運を手に入れました。ドナー候補の方が10名程もいたのです。私自身もドナー登録をしていたこともあり、もしかしたらその中の一人は自分かも知れないと緊張の中、笑ったのを覚えています。それから3カ月後、骨髄移植実施。翌年には退院、現在は復職にも目途がつき、体力づくりに励む日々です。

白血病になったことは本当にアンラッキーなことでした。しかし、それ以上のラッキーに恵まれ、周りに支えられ現在の私がいます。職場の様子をDVDに撮って応援してくれた同僚に感謝。私を最優先にして毎週のように面会に来て一緒に泣いてくれた親友たちに感謝。毎日雨の日も雪の日も面会に来て励ましてくれた母に感謝。たくさんドナー候補さんがいてくれたことに感謝。私に骨髄を提供してくれたドナーさんに多大なる感謝です!

Thank you



ドナーさん



ふか せ たかお
深瀬 孝夫さん (34歳)
神奈川県在住
2005年/ドナー登録
2回の骨髄提供を経験 職業/清掃業

二人の患者さんにいただいた
人生で最高の宝物。

ドナー登録して1カ月での適合通知、家族には「登録したら多分、直ぐ通知が届く気がする」と話してはいました。なぜかそんな気がして、まさか本当に届くとは、それが正直な気持ちです。

でもそれだけ患者さんも急を要するわけで、人の命を背負う責任と、重みを感じました。登録は家族の理解は得ていましたし、通知が来て会社に話すと、休むことに快諾してもらえたので、感謝です。

そして一番感謝しているのが、私の骨髄をもらってくれた二人の患者さんと、家族の方々です。

骨髄移植にはバンクの方々や医療関係の方々など、多くの人が関わっていること、人は支え合って生きていることを実感させてもらいました。

だから提供までの日々は、今まで以上に体調は万全を期さなければいけません。しかし、患者さんご

家族のことを思えば、大したことはありませんでした。

それとなぜか、骨髄提供する事に、全く不安はありませんでした。

選ばれたら何を差し置いても、提供する決心していたので。提供の日は、自分の骨髄に、患者さんを元気にしてあげてと送り出しました。

その後、患者さん二人からお手紙が届いた時は、お相手の方は「ああ、生きているんだ」と、言い表せない温かい心が沸き上がったのを覚えています。

私もお二人の役に立てたのかなとか、今でもそれは思うことはあります。こんな私でも、支えに少しでもなれたのなら嬉しい。

決まりで会うことは叶いませんが、それでも良いのです。この日本のどこかに、繋がっている人が二人もいる。それだけで人生で最高の宝物です。お二人は、あれから心身の状態はいかがですか?無理が必要な時もあるとは思いますが、くれぐれもご自愛ください。

生きていてくれて嬉しかった。その言葉を添えて、日本のどこかにいるお二人に命の感謝状を贈りたいと思います。



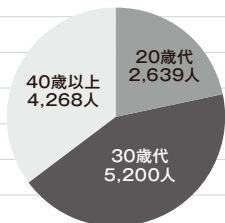
日本骨髄バンクの現状

2015年9月末現在
非血縁者間骨髄移植及び末梢血幹細胞移植の状況

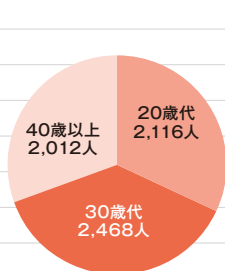
提供者の状況

※採取されたものの移植に至らなかった7例が含まれています。 **18,703件**

年齢・男女

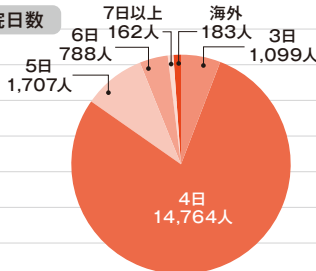


男性 12,107人



女性 6,596人

入院日数



コーディネーター状況

(1992年から2015年9月までの累計)

649,002件

ドナー登録者累計数

249,566件

HLA適合報告ドナー人数

92,354件

確認検査済みドナー人数

21,530件

最終同意面談人数

18,520件

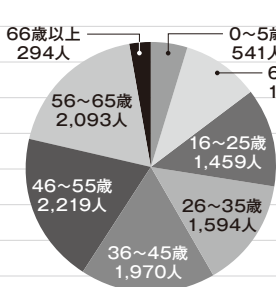
採取実施人数

※海外ドナー183人を除いた国内の数

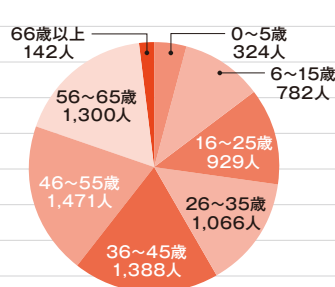
移植患者の状況

18,696件

年齢・男女



男性 11,294人



女性 7,402人



TOPICS

トピックス



ドナー助成制度導入の自治体が110を超えました

骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのために、助成制度を導入している自治体が全国で116に到達しました(2015年10月末現在)。今回、京都府内9つの自治体で助成制度が導入され、いずれも本年4月にさかのぼって助成を受けられます。京都府の積極的取り組みにより、今後も導入する自治体が増える予定です。助成制度の内容は各自治体によって異なります。当法人ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

[http://www.jmdp.or.jp/donation/about/post_202.html]



骨髄バンク推進月間の報告

10月は骨髄バンク推進月間です。今年も全国各地で骨髄バンクのイベントや登録会が開催されたほか、ラジオの政府広報番組でも「骨髄バンクについて知ろう」というテーマで取り上げられました。10月のドナー登録者数は3,086人で昨年同月比で277人増加しました。ドナー登録していただいた方をはじめ、関係各機関の皆様さまに感謝申し上げます。



骨髄バンク支援ゴルフ大会開催

11月~12月に2つの骨髄バンクを支援するチャリティーゴルフが開催されました。

11月30日、「ぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が戸塚カントリー倶楽部で開催されました。平成17年度から「貢献する気持ち」の輪を広げる社会貢献活動として、女子プロゴルファーの方々をはじめとして多くの方にご参加いただきました。また、12月3日には「2015年中溝裕子 骨髄バンクチャリティーコンペ」が開催されました。当法人の評議員でもある中溝裕子様をご自身の白血病のため骨髄移植を受けた日に毎年開催しており、ゴルフコンペのほかチャリティーオークションも行われました。



「Message-第10回骨髄バンク支援研音チャリティーオークション」開催

今年も研音グループのご協力により「Message - 第10回骨髄バンク支援研音チャリティーオークション」が開催されました。この企画は骨髄バンクのことを新聞記事で知った研音所属の俳優、唐沢寿明さんの呼びかけで、他の所属タレントさんと共にオークションを開催したのが始まりで、今回で10回目になります。10月26日~11月9日の期間に入札が行われ、落札金の全額が骨髄バンクに寄付されました。

登録内容変更方法のご案内

住所や電話番号の変更、お忘れではありませんか？

次号(平成28年7月)の
日本骨髄バンクニュースは
郵送されません！

同封されたアクセスコード
は1年間有効になります。
ウェブからの変更にはア
クセスコードが必要なため、
大事に保管してください。

① ウェブサイトで



造血幹細胞移植情報サービス (骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

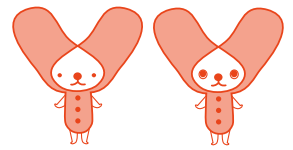
<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>



QRコード
で今すぐ
アクセス!

変更手続きは
ウェブサイトから

- ① トップページ「ドナー登録者の方へ」から「登録内容変更ページ」を開き、ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。
※アクセスコードについては「2.はがきで」を参照
- ② ①で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、ワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。
- ③ 変更する項目を入力・確認して完了!!
※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。



② はがきで

必要事項を記入し、ご郵送ください。

変更する項目に、 チェックを入れて、変更内容をご記入ください。 01 

登録内容の変更届 01234567899	
<input type="checkbox"/> 氏名	登録時氏名 菅野 太郎 様 変更後氏名 菅野 太郎 様
<input type="checkbox"/> 住所	〒 - - マンション・アパート名 マンション・アパート名 号室
<input type="checkbox"/> 電話番号 メールアドレス	電話番号 電話番号 メールアドレス
<input type="checkbox"/> 登録内容	<input type="checkbox"/> 登録取消 <input type="checkbox"/> 保留解除 <input type="checkbox"/> 保留開始 <input type="checkbox"/> 保留期間 平成()年()月()日まで

01234567899 ← アクセスコード

ウェブサイトからの
変更にはこの
アクセスコードが
必要です。

③ 献血ルームで

最寄りの献血ルーム(骨髄登録受付場所)の受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で用紙にご記入いただくだけで、手続きは完了です。
※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記1のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

- * 骨髄バンクのフリーダイヤルでは登録内容の変更は受付けておりません。
- * ドナー登録の保留や取消の手続きも上記1~3の方法で可能です。保留とは、治療中・海外勤務・出産等の理由で骨髄の提供を希望しない場合に、一時的に登録を保留にすることです。

日本骨髄バンク 公式facebookページの 「いいね!」を押してみよう!

昨年10月に日本骨髄バンクの公式facebookを開いたしました。骨髄バンクに関するイベントやお得な情報を配信しています!



あなたの参加を
お待ちしております!!

アカウント登録はこちら!

携帯・スマートフォンからでも
できます。

QRコード▶



<https://www.facebook.com/JapanMarrowDonorProgram/>

お知らせ

ドナー登録者の皆さまへ

ドナー登録者の住所不明は59,000人

現在、ドナー登録者約45万人のうち、59,000人の方が住所が分からず、連絡がとれません。住所変更の連絡がなく、本紙が返送された場合は、やむを得ず住所不明の保留とさせていただきます。患者さんと適合しても、ご連絡がとれずコーディネートが終了となりますので、お引越される場合は、必ず住所変更をお願いいたします。

末梢血幹細胞移植の条件緩和

非血縁者間末梢血幹細胞移植は、2010年10月に導入されましたが、患者とドナーの安全性が確認されたため、厚生労働省の専門家委員会によって下記のとおり条件を緩和することが妥当とされました。この条件緩和により、今後、末梢血幹細胞移植が増加すると予想されます。ドナーと患者さんの希望に沿った採取・移植ができるよう実施体制の整備を進めてまいります。

- ①「ドナーが患者とHLA 遺伝子レベルで8/8一致であること」について、非血縁者間骨髄移植と同様に「1抗原不適合(5/6抗原一致)」の移植を認めること
- ②「ドナーが末梢血幹細胞採取施設に通院可能であること」について、通院可能距離の制限を撤廃すること
- ③「末梢血幹細胞採取中の医師の常時監視」について、アフレーシスは2人以上で実施し、末梢血幹細胞採取中は熟練した医師または看護師が常時監視すること

次号(2016年7月号)は郵送でのお届けはありません。

ドナー登録者には次号の「日本骨髄バンクNEWS」の郵送を中止し、2016年7月上旬に当法人ホームページにアップします。ご希望の方に、メールで発行のお知らせをしますので、以下の「造血幹細胞情報サービス」のホームページから手続きをお願いします。当法人は2014年度決算で1億円以上の経常赤字を計上し、現在経費削減策に取り組んでいます。このため、今後、本紙の郵送は年1回となる予定です。

皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

※お詫び

前号で2015年12月から配信のご案内しておりましたが、より確実に実施するために、配信を2016年7月に延期させていただくこととなりましたのでお知らせいたします。皆さまにはご迷惑をおかけいたしますこと深くお詫び申し上げます。



造血幹細胞移植情報サービスQRコード

メールアドレスの登録をお願いします

造血幹細胞移植情報サービス
(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

「ドナー登録者登録内容変更ページ」

「登録内容変更ページ」にログイン後、「**■バンクニュース送付について メールでの配信を受け取る**」を選択してください。

(ドナー情報変更ページへ)

ご注意

※メール配信は、2016年7月号からの配信となります。
※ログインには、宛名台紙に記載されたアクセスコードが必要です。
※メール配信を受け取られた方にも、年1回は郵送でバンクニュースが届きます。
※このメールは日本骨髄バンクのメールマガジンとは異なります。

募金のお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金や皆さまからのご寄付によって成り立っています。当法人は公益財団法人に認定されているため、ご寄付をいただくと税制上の優遇措置が受けられます。

皆さまの善意をお寄せください

募金フリーダイヤル ☎ 0120-377-465 (平日9:00~17:30まで)



1. 郵便振替

郵便払込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当法人負担となります。



2. 銀行振込

募金フリーダイヤル までお電話ください。
みずほ銀行間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。
※みずほ銀行本店の名称が「東京営業部」に変更になりました。



3. お電話で募金(クレジットカード)

ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、
募金フリーダイヤル までお電話ください。
お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。



4. インターネットから募金(クレジットカード、楽天銀行、ポイント募金など)

① インターネットクレジットカード募金に変更になりました。
http://www.jmdp.or.jp/help_us/ または

② 楽天銀行(旧イーバンク銀行)
http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/bank.html
24時間入出金が可能な楽天銀行をご利用いただけます(手数料無料)。なお、事前に口座の開設が必要です。



5. 自動口座引き落としによるご寄付

詳細は資料をご送付します。
募金フリーダイヤル までお電話ください。



骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、各VISA付きカードがあります。
入会申込書を ☎ 0120-377-465 平日9:00~17:30までご請求ください。

□個人寄付者の方へ ※税額控除制度が適用されます。
これまでの「所得控除制度」に加え、税率に関係なく税額から寄付金の一定額を直接控除できる「税額控除制度」が適用されます。寄付者は2つの寄付控除制度のうち、より有利な方法を選択することができるようになります。

- ① 所得控除を選択する場合(寄付金合計(※1)-2000円)×所得税率(※2)=控除額
 - ② 税額控除を選択する場合(寄付金合計(※1)-2000円)×40%=控除額(※3)
- ※1 所得額の40%が上限 ※2 課税所得により5%~40% ※3 所得税額の25%が上限



クイズに答えて賞品をGET!

○の中に入る文字を当ててください。



Q. 今年の全国大会にゲスト出演した野球選手は? 「○○球児投手」

応募締切

2016年1月11日(月・祝)

応募方法

【PC・スマートフォン】

<http://www.donorsnet.jp/news47/>にアクセスし、応募フォームに必要な事項を記入の上、お申込みください。

【携帯】

present@jmdp.or.jp宛てに件名を「プレゼント応募」として必要事項(①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤名前、⑥年齢、⑦何賞を希望するか、⑧ご意見・ご感想)を明記の上、送信ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

A賞



5名様

直筆サイン入り藤川球児タオル

B賞



5名様

藤川球児投手直筆サイン入り色紙